



結

Peace

2017. 1. 21 No.73

yui

発行「憲法9条の会つくば」
〒305-0005
つくば市天久保 1-10-12 1-401
TEL 080-5888-7824
Fax 029-856-2286



<http://peace.arrow.jp/tsukuba2/>

2017年国民一人ひとりが声をあげ 「希望ある」年に！

明けましておめでとうございます。
本年もどうぞよろしく願いいたします。

「なんとなく今年はよいことある如し」

元日の朝晴れて風なし」石川啄木



安倍首相は、自民党の仕事始めの会合で「新しい時代にふさわしい憲法はどんな憲法か。今年はいよいよ議論を深め、だんだん姿形をあらわしていく、形づくっていく年にしていきたい」と述べ、明文改憲に強い意欲を示しました。しかし安倍首相は、憲法のどこをどのような理由で変えたいのか、国民に対して一切説明がありません。国会で問われても「憲法審査会」で議論を深めて頂きたいと無責任な答弁ぶりです。昨年の11周年記念のつどいで私達は、自民党改憲草案なるものを学びました。憲法9条2項で国防軍を設置、個人の尊厳を守る基本的人権条項は全面削除等々、これでは国民に説明できるはずがありません。

安倍自公政権は一昨年9月19日、安保法制を強行。「憲法違反」と言われているこの法制に基づき、陸上自衛隊PKO派遣部隊に「駆けつけ警護」など新任務を付与し南スーダンの首都・ジュバへ派遣しました。青森空港での出発式では見送る家族の方の涙を拭う姿に胸が痛みました。事実上の内戦状態にあると言われている南スーダン、武器使用の拡大により自衛隊員が戦闘状態に巻き込まれ、憲法が禁じている武力行使に踏み切る事態もあるかもしれません。即刻、自衛隊員の南スーダンからの撤退を求めたいと思います。

安保法制反対運動の高まりの中、若い世代の「シールズ」、「だれの子どももころさせない」を合言葉に「ママの会」、安保法制廃止、立憲主義回復を掲げて市民と野党の共闘を後押しする「市民連合」が全国各地で誕生しています。また、昨年7月の参議院選挙では全国32の一人区のうち11選挙区で野党統一候補が勝利したことは大きな希望です。

安倍自公政権は昨年の臨時国会で多数の国民の不安、反対があるにも関わらず TPP、年金カット法案、カジノ解禁法案などを強行可決させました。国会での数の力で押し切る強権政治を止めるには、平和と民主主義、暮らしを守る勢力を多数派にしていくことです。

予想される総選挙にむけて市民と立憲野党の共同が大きく広がることを期待します。

二度と戦争はしないと誓った憲法9条は、国民の中に脈々と流れています。日本国憲法施行70周年の今年、心新たにして憲法を守り、生かす運動を広げていきましょう。



憲法9条の会つくば共同代表

武田照子、野崎浩司、穂積妙子、堀部一寿、三浦克洋

憲法9条の会つくば「11周年記念のつどい」のご報告

「憲法9条の会つくば」は、「11周年記念のつどい」を、11月26日（土）午後、つくばイノベーションプラザ大会議室で開催しました。穂積怜さん、山脇千枝さん、若いお二人の司会のもとで、実行委員長挨拶に続き、武田照子共同代表が「活動報告と今後の目標」の報告を行いました。

特別講演の講師は黒澤いつきさん（「明日の自由を守る若手弁護士の会」・略称「あすわか」共同代表）、演題は「自由も平和も守りたい～壊憲に抗う」です。

立憲主義の歴史的な成り立ちを振り返り、近代国家として最低限共有されている根源的なルールが個人の尊厳にあること、私たち一人ひとりが誇りある人間としてこの地で生きていくために必要不可欠なルールが、今、破壊されつつある。そして、集団的自演権行使の閣議決定について、「憲法に何が書かれているか」よりも「権力が憲法をどう読みたいか」が優先するという立憲主義の破壊の瞬間に、私たちは立ち会ってしまったと話されました。

ついで、自民党が改憲で目指す国家とはどのようなものかその全体像を話され、自民党改憲草案の条文を現憲法との対比で解説されました。法律家が読み込むと、普通にはなんとなく読み過ごす言葉の中に、国家権力が「公益と公の秩序」という権力がどうにでも解釈できる言葉を建前に、現憲法12条の国民の自由の権利や13条の生命、自由及び幸福追求に対する国民の権利、そして人権の核心である21条の表現の自由を制限し、権力に従わせるという、およそ近代憲法と真逆な、権力の自由を保障する内容であることを、具体的に例を挙げながら話されました。特に印象深かったことは、現憲法の24条が、「あるべき家族とは」「あるべき父親とは」「あるべき男性とは」「あるべき女性とは」「あるべき母親とは」という像を押し付けていた家制度から離別することができた条文であるということです。この点での現状の不十分な状態を痛感させられ、現憲法が未来を照らす先進的な憲法であることを改めて認識させられました。詳しくは、後段に掲載の講演の要旨をご覧ください。また、講演を文章に起こしました。ご希望の方は、是非お読みください。

休憩時間の「つどい川柳」表彰では、太田紀伊子さんから表彰作品の講評をしていただきました。

後半では、つくば市在住の坂本優子さんが中国古典楽器の二胡を演奏され、間近に懐かしい調べを堪能しました。最後に、二胡演奏をバックに「見上げてごらん夜の星を」を皆で歌いました。閉会の挨拶は穂積妙子共同代表が行いました。坂本さんはとてもフレンドリーな方で、「つどい」終了後もあちこちで交流がありました。

今回の「11周年記念のつどい」の参加者は78名と少なく、アンケートにさびしいとの声もありました。宣伝が不足であったと反省しております。しかしながら、内容ではとても充実した「つどい」であったと思っています。黒澤さんの憲法の話、是非、今後の力に生かせればと思います。

11周年記念のつどい実行委員長 野崎浩司



憲法9条の会つくばは、「戦争法の廃止を求める2000万人統一署名」(後述)に実行委員会を結成して積極的に取り組みました。また7月の参議院選挙にむけて、立憲主義と憲法9条を守るアピールを「結」に掲載しました。5月の憲法フェスタ、メーデー、10.21集会、12.8不戦のつどいなどの実行委員会に参加・協力をし、9.19集会に参加するなど、他団体と共同行動を積極的に行いました。一方、7月の参議院選挙では、野党共闘候補が全1人区で大健闘し、11の1人区で勝利しました。一方、改憲勢力に3分の2の議席を許す結果になり、南スーダンへ派遣される自衛隊に、「駆けつけ警護」「宿営地共同防護」任務を与える閣議決定を行うなど、「戦争か平和か」のせめぎ合いは新たな局面を迎えています。憲法9条の会つくばは、情勢の変化に合わせて対応を探求し、9条改憲を阻止するために力を尽くします。

I. 活動報告

1. 賛同呼びかけと署名活動

世話人や賛同人がそれぞれの地域・活動の中で賛同を広げています。11月19日現在の賛同人は939人、内つくば市在住の賛同人は674人です。

9条つくばとしての独自の署名は、毎月3日、9日、第3日曜日の3回実施しています。3日は、「アベ政治を許さない」スタンディング行動(後述)後の署名、9日は9の日に行う署名、第3日曜日は定例署名として実施しています。これまでに集めた署名総数は、11月19日現在16,350筆に達しています。

2. 2000万人署名実行委員会

戦争させない・9条壊すな!総がかり行動実行委員会の呼びかけで始まった「戦争法の廃止を求める2000万人統一署名」について実行委員会を立ち上げて全力で取り組みました。

・署名お願い文、チラシ、署名用紙、料金受取人払い封筒の4点セットを賛同人に送り協力を呼びかけました。また、学園地域中心に4点セット約4000部を戸別配布、139人から644筆の返信がありました。

・梅園地域、桜ニュータウンでは集会開催などで多くの方に署名をしていただきました。

・定例街頭署名の場や友人、知人など幅広く訴え、多くの署名を集めることができました。

全国で1580万筆(10/5現在)突破、憲法9条の会つくばは、3806筆(11/19現在)達成しました。

3. 他団体との共同行動

* 戦争する国づくりNo@つくば実行委員会

戦争をする国づくりNO@つくば:1月14日「つくば総がかり署名活動出発集会」を共同開催し、2000万人署名の取り組みを呼びかけました。3月11日、「さよなら原発3・11から5年つくばアクション昼休み集会&パレード」を開催、雪模様の中、参加者約100人です。5月26日、参院選に向けて野党共闘を呼び掛ける「講演と話し合いの夕べ」や、安保法制の発動を許さない9・19つくば集会とパレードを共同開催しました。

ランタン行動:本年7月まで、毎週金曜日につくば

エクスプレスのつくば駅と研究学園駅で交互に、夕方からランタンを灯しつつ安保法制への抗議行動を行ないました。5月には竹園高校、並木高校前で若い世代へ呼びかける「18才選挙権のミニパンフ」の配布を行ないました。

「アベ政治を許さない」スタンディング:毎月3日、現在もつくば駅頭を中心に行なっています

* 九条の会茨城県連絡会、9条の会県南交流会

・憲法フェスティバル:5月3日、憲法フェスティバルが水戸ハナミズキ公園で開催されました。約70人を集めて「九条の会交流会」が開かれ、35団体が活動報告を行いました(九条の会茨城県連絡会主催)。

・九条の会茨城県連絡会学習会:6月15日水戸青少年研修センターで、憲法こわすな!実行委員会代表の高田健氏を招き、2000万人統一署名運動の意義、7月の参議院選挙に向けての情勢などを学習しました。

・県南9条の会交流会:10月17日の交流会では、9月25日の「九条の会全国交流討論集会」の小森事務局長の呼掛け、12人の世話人体制などや、衆議院選挙6区・3区に地域市民連合結成について意見交換をしました。

4. 学習、企画、催しなど

* 10周年記念のつどい

12月9日に開催し、参加者は125名。二見伸明氏、渡辺信夫氏、吉野年雄氏の戦争体験と戦後の歩みについての講演、及び、2015年の活動が報告されました。冊子「語りつぐ戦争体験-平和をつなぐあなたへのバトン」を400冊出版して販売と配布を行い、残り約50冊をさらに普及する予定です。常陽リビング社紙面で希望者への贈与が広告され、多くの希望者がありました。

* 自民党改憲草案の学習

9月の学習会は、先の戦争の反省の視点を薄めて愛国主義を称揚する前文の書き換え、天皇を象徴から元首にする、9条2項を削除し国防軍を明記して戦争ができる国に変わる、これらの問題点を確認しました。次回は基本的人権や立憲主義軽視の問題を学習予定です。

* 川柳9条教室

3月と9月に川柳9条教室を開き、憲法フェスティバル川柳大会と11周年記念のつどい「つどい川柳」に向けて憲法に関わる作品募集を行いました。

5. 「結」の発行

コミュニティー誌「結」を隔月発行。年頭は2000万人

署名の訴え、参院選の争点を解説、立憲主義と憲法を守ろうと訴えました。選挙後には、選挙内容の総括と今後、引き続き憲法を守る運動への参加を呼びかけました。賛同人の手記、報告を紹介し、現在進行する動向を伝えました。

II. 今後の活動の目標

私たちは「戦争法廃止 2000万署名」で発揮した憲法9条の会つくばの底力に確信を持ち、沢山の人々との共同行動をより強化し、安保法制廃止と改憲阻止に全力をあげましょう。

- ① 賛同人数 1000人（つくば市 700人）以上を目指します。
- ② 「憲法9条を変えさせない」署名 20,000筆以上を目指しましょう。署名活動では、対話の内容を工夫し、市民の疑問に答えられるよう取り組みます。
- ③ 市内各地域で賛同人が交流する場をつくり、署名や宣伝活動を広めます。
- ④ 学生・若者の真摯な平和と民主主義を求める声に連帯し、共に平和と民主主義・立憲主義をとりもどす活動を広げます。

九条の会茨城県連絡会や県南9条の会交流会との連携を強め、県内各地で九条の会の共同行動を広げます。



～11周年記念のつどいに寄せられたアンケートの紹介～

アンケートの総数は16件で、年代の内訳は(70代:6名、60代:3名、50代:4名、40代:1名、記入なし:2名)です。貴重なご意見や感想をいただきましたので、要約して紹介します。

「黒澤いつきさんの講演」について

- ① かみくだいた分かり易い内容だった。他の人達に伝えるためには、参考になる話だ。目が覚めた!
- ② 立憲主義の意味がよく判った、また、押し付け憲法の解釈論の話、良く判った。
- ③ 「自民党改憲草案」と「家制度」復活の危険性をもつという切り口から批判されたのは新鮮でした。女性講師ならではのと思いました。拍手
- ④ 改憲草案の曖昧な言葉に騙されないように、しっかり日本語を勉強しなければと思った。

「憲法9条の会つくばの活動や運動」について

- ① 北朝鮮や中国との関係、日本の防衛に対して、現行憲法下できちんと説明できること、「安保条約は必要だが、自衛隊員が海外で殺し殺されるのは嫌だ」という方々と連携すること、若い人の参加が少ないのが問題だ。
- ② 日本国憲法は押し付けられた論に対する本日の講師の話を、わかり易い表現方法で啓蒙活動に使うこと。
- ③ 改正(悪)案の内容を知らない人も多いので、TVなどでも頻りに話題になるとよい、或いは、新しいつくば市政で、「憲法」とか「立憲主義」とかをテーマにする講座・勉強会・ポスターコンクールを開いて、それをつくば市のリベラルな教育に

取り入れられないか。

- ④ 憲法を考える場はもっと平たく議論できる場をあちこちで作れるとよい、或いは、川柳で9条を守る運動を進めたいのでご支援をお願いします、などです。

また、政治に対して「公益及び公の秩序：破っているのはアベだ。現行憲法を守れ! 国民よ、今が緊急事態だ・・・という運動。民進党も目を覚ませ」、「護憲、日米安保条約を改正する野党連合をつくるのが前に進むために必要」というご意見が寄せられました。

「つどいの運営」について

- ① 質疑応答は質問用紙を提出する形にして、そこから選択して答えてもらう方がよい。
- ② 記念のつどいでは、映画とか、ピースコンサートとかもっと気軽に行けるものでもいいかなと感じている。
- ③ 隣近所の顔の見える集まりが時々でもあれば、「つどい」に誘える、年々参加者が少なくなるのは寂しい。
- ④ また「あすわか」弁護士をよんでください、などです。

ご協力ありがとうございました。

「憲法9条の会つくば」の活動から



◆賛同人 2016年1月9日現在
 総数 939名 (市内 674名)
 ◆9条署名 1月9日現在 16,466筆

当会では毎月第3日曜日に定例署名、9日に9の日署名を行なっています。その他、「戦争をする国づくりNO@つくば」と共に、毎月3日「アベ政治を許さない」スタンディングと署名を行ないます。

定例・9の日署名

▼11月20日(第3日曜日)、定例署名の日。西武デパート2階外広場から、ライトオンに至る橋の上で署名活動をしました。参加者は、5人。荒牧さんの抒情歌が流れる中で、歌に心を託しつつ、憲法9条を変えない署名を呼び掛けました。歌に引き寄せられて覗き込む人がいて、そうした人にチラシを渡し、その人が西武に近づいてきたところで、署名を呼びかける、という連係プレーで署名を集めました。この日は、南スーダンPKOに派遣される自衛隊の先遣隊300人が送り出された日。駆けつけ警護・宿舎警備という新しい任務を与えられ、それが「戦争への参画」「殺し・殺される状況に直面する」かもしれない中での自衛隊員の派遣。戦後71年、憲法9条に守られてきた日本が、平和憲法に反して戦場に若者を送った「記念すべき日」。この日を忘れてはいけな...と思いつつ、署名を終えました。

▼12月3日、8日署名を行ないました。12月3日「アベ政治を許さない」スタンディング終了後、西武前で署名活動をしました。参加者は5人、成果は15筆。荒牧さんが参加して下さりました。このところ、署名を願いますと、「憲法を変えた方がいいと思っているから...」と言って去ってゆく人が、増えたような気がします。たまたま、そういう人に当たったのか、あるいは、ほんとに増えたのか...? 12月8日は赤紙を配布しながら、署名を集めました。署名参加者は4人。署名数は8筆。

▼12月18日(日)、年度最後の定例署名をしました。初

めの頃は「被曝と帰還の強制反対」署名をしている団体と一緒に「憲法9条を変えさせない署名」を呼びかけました。日曜の昼下がり、クリスマス・年末の買い物で、人通りは結構あり集まった署名は18筆でした。

@つくば共同行動スタンディング

▼12月19日(月)安保関連法廃止を要求する共同アクションを行ないました。西武デパート2階とライトオンを結ぶ陸橋の上で、13:30~14:30横断幕とのぼり旗とプラカード等を持ちチラシを配布しながら、参加者のリレートークで、安保関連法(戦争法)の廃止・スーダンへの自衛隊派遣反対・自衛隊への駆けつけ警護任務付与反対・沖縄新基地建設・オスプレイ基地建設反対・オスプレイ配備反対などを訴えました。この日は@つくば協賛団体の7団体から20人が参加、久しぶりににぎやかな行動となりました。▼1月3日には新年のスタンディングを行ないました。

成人の日署名

▼1月8日(日)つくば市主催の成人式会場で署名活動をしました。今年の成人者数は約1600人だそうで、式典参加の女性の大部分はきらびやかな着物姿、男性は背広姿だが、羽織袴姿もちらほら。署名は60筆。女性よりも、男性の署名が多いというのが通常の署名とは異なる点でしょうか。南スーダンへの自衛隊派遣などについて見聞きしている人が多かったように思います。女性の1人が、名前と住所を書くようお願いしたら「え? 両方書いたらやばいんじゃないの? すぐばれちゃうよ!」と言ったことが印象的でした。「共謀罪」が強行採決され施行されるようになると、署名は一層難しくなるかも...。今年も厳しい1年になるでしょうが、国民の人権と平和、立憲主義を守る戦いを続け、安倍暴走政権には早々に退陣して貰わなくては!

という思いを強くした1日でした。(長田)

憲法9条の会つくば 会計決算報告 2017.1.10

2016年会計年度 2016年1月~2016年12月

収入

前期より繰り越し	
口座	325,396
現金	143,340
小計	468,736

今期収入

賛同人カンパ(口座)	321,500
賛同人カンパ(現金)	82,600
11周年のつどい	61,371
冊子売上	31,750
その他	4,500
小計	501,721

収入合計	970,457
------	---------

支出

「結」関係	190,441
行事関係	8,259
11周年のつどい	100,890
その他(県チラシ分担金、ハガキ代、県のつどい案内発送等)	124,271
支出合計	423,861

差引残高	546,596
口座	496,094
現金	50,502

収入 - 支出	546,596
---------	---------

カンパのお願い

今年もカンパのお願いをさせて頂きます。ついては、振込用紙を同封させて頂きました。金額の多寡は問いませんので、皆様のご協力よろしくお願ひいたします。

明文改憲に意欲をみせ、年金切り下げ、医療、介護の負担増など国民の願ひとは真逆の政治を強行している安倍首相。今年も手を携えて9条を守る活動を広げていきましょう。

2017.1.22 憲法9条の会つくば世話人一同

長編アニメ映画
『この世界の片隅に』

監督：片淵須直
原作：この史代



この映画は「夕凧の街 桜の国」の作者、この史代氏原作のアニメーション映画です。

話は 1940 年代の広島・呉を舞台に、時間があれば好きな絵を描いているすずという少女と彼女を取り巻く人々の日常と戦争という時代を描きながら進んでいきます。特別に戦時の悲惨さを強調しているのではなく、時にはおかしく時には深刻に、丁寧に人々の思いにも触れながら展開します。戦況が悪くなる 1944 年以降、生活の厳しさが増し、食べ物不足物不足、空襲の度に豪に逃げ込む、戦争に振り回される毎日です。海軍の拠点である呉は空襲の標的で、ある日警報の中見上げた空一面が戦闘機で覆い尽くされているシーンは恐怖の一言です。死を覚悟しながら戦艦に乗り込む幼なじみや遊郭で自由を奪われながらも生きていく少女など、誰もが戦争の時代に呑み込まれていきます。すずも空襲で姪の死と自分の右手を失うという運命に向き合うこととなります。無念と失望の中で終戦を迎えたすずが叫んだ言葉が私の胸に突き刺さりました。「最後の一人まで戦うと言ったじゃないか。ここにまだ 5 人おる！」国民のこれまでの苦難はなんだったのか！と、誰もが思ったに違いありません。誰の為にもならない戦争という愚かな行為を二度としてはダメだ！と私たちは後世に語り続けていかなければと改めて強く思いました。映画の終盤、すず夫婦に親を亡くした子との幸せな出会いがあります。見ている全員が救われた思いがしたのではないのでしょうか。戦後の荒廃した中で優しい手を差し伸べたのも人間でした。本来人間の誰の心にも“思いやり・優しさ”というものがある、それは失うはずの無いものだと思えました。

鑑賞した方の声によって上映館が増えたそうです。まだの方は必見度 100%です！（水落）

ドキュメンタリー映画
『戦場ぬ止み（いくさばぬとろどろみ）』

三上智恵監督



「標的の村」の三上智恵監督の作。題名の「戦場」とは基地建設反対の戦いのこと。沖縄はずっと戦場なのだ。その戦いを終わらせたい、沖縄の思いを世界に知らしめたい！まさに涙と叫びのドキュメント。敗戦後 71 年間ずっとアメリカ軍に占領されたままだ。「本土復帰」というのは何だったのか？どこに主権があるというのだ？アメリカも「沖縄」は日本と考えていない。墜落やレイプ殺人があっても日本政府はアメリカとの交渉相手にならない。沖縄の住民の命も人権も選挙で示された意思も国は無視。それを報道しないマスコミも糾弾されるべきだが、知る努力をしない私たち本土の人間こそ罪人だと思う。

国は、辺野古の海を埋め立てて巨大な港と最新鋭の基地を建設し、高江のやんばるの森を破壊してヘリパッドを建設している。日に数百台ものダンプカーが日本のパトカーと機動隊に守られてアメリカの戦争施設を作っている。建設反対住民と支援者を力すくで排除しているのは、日本中からかき集められた機動隊と警備会社。住民の頭上スレスレにオスプレイが飛ぶ。森も海も、ジュゴンもヤンバルクイナも、愛おしいものが次々に壊される。それでも沖縄の人々は泣いても歌ってる、笑って踊ってる。「瀬長亀次郎」が沖縄には大勢いる。不屈だ！！「勝つ方法は、あきらめないこと」

辺野古漁港のテント村、12/13 で座り込み 4622 日。東京の都立忍ヶ岡高校の 2 年生が修学旅行で来ていた。実家のすぐ近くの学校、この時はまだオスプレイが 2 機ずつ何回か旋回していた。落ちたのはこの日の夜。抗議船力ヌーが出発する浜、米軍施設との境の金網フェンスにたくさんのメッセージ。ヤドカリが集会中。貝(家)の交換会なのか米軍への抗議集会なのか？ 辺野古の基地建設が始まったら、浜はなくなる。（関谷和子）

イ シ フ オ メ ー シ ョ ン

◆衆院茨城 3 区「市民連合結成のつどい」

内容：記念講演『野党共闘をどのように実現したか』山形のたたかいー講師：舟山やすえ（山形県選出参議院議員）
日時：1 月 29 日（日）14:00～16:00
会場：茨城県取手市福祉交流センター 1 階多目的ホール資料代 500 円
共催：（仮称）市民と野党をつなぐ会@茨城 3 区・茨城県市民連合
連絡先：090-6471-7090（根本）

行動予定

- 1 月 21 日（土）世話人会 13:00～16:00 並木交流センター小会議室 2
- 2 月 3 日（金）アベ政治を許さないスタンディング 13:00～
つくば駅 A3 出口@つくば主催
- 2 月 9 日（木）9 の日署名 12:00～13:00 アルス前
- 2 月 18 日（土）事務局会 10:00～12:30 市民活動センター（予定）
- 2 月 19 日（日）定例署名 12:00～13:00 クレオ前
安保関連法廃止共同アクション 18:00～19:00 つくば駅改札口前
- 3 月 3 日（金）アベ政治を許さないスタンディング 13:00～
つくば駅 A3 出口@つくば主催
- 3 月 9 日（木）9 の日署名 12:00～13:00 アルス前
- 3 月 11 日（土）3・11 関連集会予定（内容未定）@つくば主催予定